

「地域おこし協力隊」を 紹介します

リノベーションまちづくり推進担当
いしざわ こうじ
石澤 康次さん

町は1月4日、地域おこし協力隊「紫波タウンイノベーターズ」の辞令交付式を行い、青森県青森市出身の石澤康次さんに辞令を交付しました。町が取り組みを進める「リノベーションまちづくり」の推進担当として、地域住民や関係機関と連携しながら活動を展開し、遊休不動産を活用して町の課題解決を図っていくことを目指します。今回は、石澤さんが地域おこし協力隊に興味を持ったきっかけやまちづくりへの思いなどについてお聞きしました。

■地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、平成21年に国がつくった制度です。都市部に在住し、地方への移住や地域社会への貢献に関心を持つ人が、過疎地域などの条件不利地域に住民票を移し、地域に暮らしながら地域活性化や都市住民の移住・交流の支援などのさまざまな地域協力活動を行います。隊員の定住・定着を図るとともに、一連の活動を通じて、地域力の維持・強化を図っていくことも目的としています。活動期間はおおむね1年以上3年以下です。

■どんな人になるの？

「地域おこしに関わりたい人」「地方に暮らして自分の夢を実現したい人」など、地域活性化に意欲のある人。

地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取り組み～

地域おこし 協力隊

- 自身の才能・能力を生かした活動
- 理想とする暮らしや生きがい発見

地域

- 斬新な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に小さな刺激を与える

地方公共団体

- 行政ではできなかった柔軟な地域活動支援
- 住民が増えることによる地域力の維持・強化



皆さんはじめまして!この度、町の地域おこし協力隊として着任した石澤康次です。県外で働く中で自分の生活環境や暮らし方に疑問を抱き始めるようになり、今回思い切って東北にUターンしてきました。久しぶりの雪道にはまだ慣れることができず、毎日へっぴり腰になりながら通勤しています。

普段は情報交流館にいますが、街中で見かけた際は声を掛けていただけるとうれしいです。よろしくお願いします!

インタビュー

[石澤さんのプロフィール] 青森県青森市出身、日詰地区在住の27歳。岩手大学工学部を卒業後、医療機器の商社に就職。愛知県名古屋市、静岡県浜松市、静岡県静岡市などで合わせて約4年間暮らした後、町に移住し、町の地域おこし協力隊として1月1日付けで着任。趣味はギター。



▼町にどんな印象を持ちましたか。

生まれも育ちも青森県なので、比較的雪は少ないなという印象です。大学時代は盛岡市で暮らしていたのですが、町のこととは何も知りませんでした。

昨年8月に初めて町を訪問したときの第一印象は「人が少ないな、暮らしていいのかな」ということですね。

▼その不安は解消されましたか。

今はまず「やってみよう」という思いが強いです。意欲は十分あるので、気負わず誠実に役割を果たしていきたいと考えています。

▼なぜ地域おこし協力隊に興味を持ったのですか。

簡単に言うと「生きる意欲・生きがい」に

ついて深く考えるようになったことが、全ての始まりです。

私が名古屋で働いたのは、そもそも人生のチャレンジとして未知の場所で働くことと思ったからでした。都会で働きながら自分の可能性について考え続けていました。

ある時、親しい友人が

脱サラして青森市で自家焙煎コーヒー豆の販売を始めたという話を聞き、「自分の欲しい暮らしを自分でつくりたい」と思うようになりました。自分の「やりたいこと」や「やってみたいこと」を実行すると決心する一方で、「地域の中で地域の幸せのために役立つ人材になりたい」ということも考えるようになりました。

その後、東京都千代田区にある「ふるさと回帰支援センター」に相談に行ったら、地域おこし協力隊の制度を紹介され、応募しました。

▼なぜ、紫波町を選んだのですか。

第2のふるさとともいえる盛岡市に近いこと。盛岡市を拠点に活動している「G.F.F.P.S」というギターアンサンブルサークルに参加しているので、町に住めば

その活動も続けていけそうだなと思ったこと。町の職員に熱い人が多いこと。素直にこの町に住んでみたいと思えたことなどが主な理由です。

▼リノベーション推進担当として、どんなことをしたいですか。

私自身が地域にとつての小さい起爆剤になりたいです。新しいことや、これまで無かったことを町の皆さんと一緒につくってみたいです。

現在、日詰商店街の中でリノベーションを進めている物件があります。すでに断熱改修工事が始まっているのですが、できれば協力隊の拠点事務所などに活用できないかと思っています。

リノベーションとは「ヒト・モノ・コト」が絶えず動き続けていることだと思っています。町内の魅力を生かしつつ、その中に新しい風を吹き込む。そんな活動をしていきたいです。

▼将来はどのようになりたいと考えていますか。

私の任期は毎年更新契約で最長3年です。その後は、町に住み続けて、起業したいと考えています。模索し、試行しながら、この町で夢を実現したいです。